

年金記録訂正請求に係る答申について

関東信越地方年金記録訂正審議会

(東京都担当部会)

令和2年8月31日答申分

○答申の概要

年金記録の訂正の必要があるとするもの 5件

厚生年金保険関係 5件

厚生局受付番号 : 関東信越(東京)(受)第2000004号
厚生局事案番号 : 関東信越(東京)(厚)第2000042号

第1 結論

請求者のA社における平成25年12月26日の標準賞与額を70万円、平成27年8月12日の標準賞与額を70万円に訂正することが必要である。

平成25年12月26日及び平成27年8月12日の標準賞与額については、厚生年金保険の保険給付及び保険料の納付の特例等に関する法律第1条第5項の規定により、保険給付の計算の基礎となる標準賞与額として記録することが必要である。

事業主は、請求者に係る平成25年12月26日及び平成27年8月12日の標準賞与額に基づく厚生年金保険料を納付する義務を履行していないと認められる。

第2 請求の要旨等

1 請求者の氏名等

氏名 : 男
基礎年金番号 :
生年月日 : 昭和22年生
住所 :

2 請求内容の要旨

請求期間 : ① 平成25年12月26日
② 平成27年8月12日

A社で役員として勤務していた請求期間①及び②の標準賞与額が保険給付の対象とならない記録(厚生年金保険法第75条本文該当)となっているので、調査の上、年金記録を訂正し、年金額に反映してほしい。

第3 判断の理由

A社から提出された請求期間①及び②に係る請求者の賃金台帳により、請求者は、同社から当該期間について、それぞれ70万円の賞与の支払を受け、当該賞与額に見合う標準賞与額に基づく厚生年金保険料を事業主により賞与から控除されていたことが認められる。

なお、事業主が請求者に係る厚生年金保険料を納付する義務を履行したか否かについては、事業主は、平成25年12月26日及び平成27年8月12日の賞与について、請求者に係る健康保険厚生年金保険被保険者賞与支払届を年金事務所に対し、保険料を徴収する権利が時効により消滅した後の令和2年1月9日に提出し、厚生年金保険料についても納付していないことを認めていることから、年金事務所は、請求者の平成25年12月26日及び平成27年8月12日の賞与に係る厚生年金保険料について納入の告知を行っておらず、事業主は、当該期間に係る厚生年金保険料を納付する義務を履行していないと認められる。

厚生局受付番号 : 関東信越(東京)(受)第2000005号
厚生局事案番号 : 関東信越(東京)(厚)第2000043号

第1 結論

請求者のA社における平成25年12月27日の標準賞与額を78万円、平成27年8月12日の標準賞与額を78万円に訂正することが必要である。

平成25年12月27日及び平成27年8月12日の標準賞与額については、厚生年金保険の保険給付及び保険料の納付の特例等に関する法律第1条第5項の規定により、保険給付の計算の基礎となる標準賞与額として記録することが必要である。

事業主は、請求者に係る平成25年12月27日及び平成27年8月12日の標準賞与額に基づく厚生年金保険料を納付する義務を履行していないと認められる。

第2 請求の要旨等

1 請求者の氏名等

氏名 : 男
基礎年金番号 :
生年月日 : 昭和48年生
住所 :

2 請求内容の要旨

請求期間 : ① 平成25年12月27日
② 平成27年8月12日

A社で役員として勤務していた請求期間①及び②の標準賞与額が保険給付の対象とならない記録(厚生年金保険法第75条本文該当)となっているので、調査の上、年金記録を訂正し、年金額に反映してほしい。

第3 判断の理由

A社から提出された請求期間①及び②に係る請求者の賃金台帳により、請求者は、同社から当該期間について、それぞれ78万円の賞与の支払を受け、当該賞与額に見合う標準賞与額に基づく厚生年金保険料を事業主により賞与から控除されていたことが認められる。

なお、事業主が請求者に係る厚生年金保険料を納付する義務を履行したか否かについては、事業主は、平成25年12月27日及び平成27年8月12日の賞与について、請求者に係る健康保険厚生年金保険被保険者賞与支払届を年金事務所に対し、保険料を徴収する権利が時効により消滅した後の令和2年1月9日に提出し、厚生年金保険料についても納付していないことを認めていることから、年金事務所は、請求者の平成25年12月27日及び平成27年8月12日の賞与に係る厚生年金保険料について納入の告知を行っておらず、事業主は、当該期間に係る厚生年金保険料を納付する義務を履行していないと認められる。

厚生局受付番号 : 関東信越(東京)(受)第2000006号
厚生局事案番号 : 関東信越(東京)(厚)第2000044号

第1 結論

請求者のA社における平成25年12月27日の標準賞与額を58万円、平成27年8月12日の標準賞与額を63万円に訂正することが必要である。

平成25年12月27日及び平成27年8月12日の標準賞与額については、厚生年金保険の保険給付及び保険料の納付の特例等に関する法律第1条第5項の規定により、保険給付の計算の基礎となる標準賞与額として記録することが必要である。

事業主は、請求者に係る平成25年12月27日及び平成27年8月12日の標準賞与額に基づく厚生年金保険料を納付する義務を履行していないと認められる。

第2 請求の要旨等

1 請求者の氏名等

氏名 : 男
基礎年金番号 :
生年月日 : 昭和49年生
住所 :

2 請求内容の要旨

請求期間 : ① 平成25年12月27日
② 平成27年8月12日

A社で役員として勤務していた請求期間①及び②の標準賞与額が保険給付の対象とならない記録(厚生年金保険法第75条本文該当)となっているので、調査の上、年金記録を訂正し、年金額に反映してほしい。

第3 判断の理由

A社から提出された請求者の賃金台帳により、請求者は、同社から請求期間①については58万円、請求期間②については63万円の賞与の支払を受け、当該賞与額に見合う標準賞与額に基づく厚生年金保険料を事業主により賞与から控除されていたことが認められる。

なお、事業主が請求者に係る厚生年金保険料を納付する義務を履行したか否かについては、事業主は、平成25年12月27日及び平成27年8月12日の賞与について、請求者に係る健康保険厚生年金保険被保険者賞与支払届を年金事務所に対し、保険料を徴収する権利が時効により消滅した後の令和2年1月9日に提出し、厚生年金保険料についても納付していないことを認めていることから、年金事務所は、請求者の平成25年12月27日及び平成27年8月12日の賞与に係る厚生年金保険料について納入の告知を行っておらず、事業主は、当該期間に係る厚生年金保険料を納付する義務を履行していないと認められる。

厚生局受付番号 : 関東信越(東京)(受)第2000007号
厚生局事案番号 : 関東信越(東京)(厚)第2000045号

第1 結論

請求者のA社における平成25年12月26日の標準賞与額を50万円、平成27年8月12日の標準賞与額を50万円に訂正することが必要である。

平成25年12月26日及び平成27年8月12日の標準賞与額については、厚生年金保険の保険給付及び保険料の納付の特例等に関する法律第1条第5項の規定により、保険給付の計算の基礎となる標準賞与額として記録することが必要である。

事業主は、請求者に係る平成25年12月26日及び平成27年8月12日の標準賞与額に基づく厚生年金保険料を納付する義務を履行していないと認められる。

第2 請求の要旨等

1 請求者の氏名等

氏名 : 女
基礎年金番号 :
生年月日 : 昭和22年生
住所 :

2 請求内容の要旨

請求期間 : ① 平成25年12月26日
② 平成27年8月12日

A社で役員として勤務していた請求期間①及び②の標準賞与額が保険給付の対象とならない記録(厚生年金保険法第75条本文該当)となっているので、調査の上、年金記録を訂正し、年金額に反映してほしい。

第3 判断の理由

A社から提出された請求期間①及び②に係る請求者の賃金台帳により、請求者は、同社から当該期間について、それぞれ50万円の賞与の支払を受け、当該賞与額に見合う標準賞与額に基づく厚生年金保険料を事業主により賞与から控除されていたことが認められる。

なお、事業主が請求者に係る厚生年金保険料を納付する義務を履行したか否かについては、事業主は、平成25年12月26日及び平成27年8月12日の賞与について、請求者に係る健康保険厚生年金保険被保険者賞与支払届を年金事務所に対し、保険料を徴収する権利が時効により消滅した後の令和2年1月9日に提出し、厚生年金保険料についても納付していないことを認めていることから、年金事務所は、請求者の平成25年12月26日及び平成27年8月12日の賞与に係る厚生年金保険料について納入の告知を行っておらず、事業主は、当該期間に係る厚生年金保険料を納付する義務を履行していないと認められる。

厚生局受付番号 : 関東信越(東京)(受)第2000008号
厚生局事案番号 : 関東信越(東京)(厚)第2000046号

第1 結論

請求者のA社における平成27年8月12日の標準賞与額を10万円に訂正することが必要である。

平成27年8月12日の標準賞与額については、厚生年金保険の保険給付及び保険料の納付の特例等に関する法律第1条第5項の規定により、保険給付の計算の基礎となる標準賞与額として記録することが必要である。

事業主は、請求者に係る平成27年8月12日の標準賞与額に基づく厚生年金保険料を納付する義務を履行していないと認められる。

第2 請求の要旨等

1 請求者の氏名等

氏名 : 男
基礎年金番号 :
生年月日 : 昭和23年生
住所 :

2 請求内容の要旨

請求期間 : 平成27年8月12日

A社で役員として勤務していた請求期間の標準賞与額が保険給付の対象とならない記録(厚生年金保険法第75条本文該当)となっているので、調査の上、年金記録を訂正し、年金額に反映してほしい。

第3 判断の理由

A社から提出された請求期間に係る請求者の賃金台帳により、請求者は、同社から当該期間について10万円の賞与の支払を受け、当該賞与額に見合う標準賞与額に基づく厚生年金保険料を事業主により賞与から控除されていたことが認められる。

なお、事業主が請求者に係る厚生年金保険料を納付する義務を履行したか否かについては、事業主は、平成27年8月12日の賞与について、請求者に係る健康保険厚生年金保険被保険者賞与支払届を年金事務所に対し、保険料を徴収する権利が時効により消滅した後の令和2年1月9日に提出し、厚生年金保険料についても納付していないことを認めていることから、年金事務所は、請求者の平成27年8月12日の賞与に係る厚生年金保険料について納入の告知を行っておらず、事業主は、当該期間に係る厚生年金保険料を納付する義務を履行していないと認められる。